

2017年 マネジメントの 新たな視点

世界は経済停滞のリスクをはらみながら、経済のグローバル化やデジタルテクノロジーの急速な発展などにより、変化が常態化している。国内では少子・高齢化や労働人口の減少などを背景に、国内市場の縮小、消費市場の構造的変化といった課題を生み出している。また、経済社会の成熟化や生活レベルの向上などにより、労働者の価値観や生活、働き方に対するニーズが多様化している。こうした経営環境の変化の中で、企業はいままで通りの考え方で未来を切り拓いていけるのか、改めて問うてみる必要があるのではないだろうか。このような問題意識を背景に、新年号の特集テーマを「2017年 マネジメントの新たな視点」として、3本の論文を取り上げた。

経営の
良い「あたりまえ」、
悪い「あたりまえ」

清水 勝彦

01

中堅・中小企業における
イノベーションと
そのための組織のあり方

山野井 順一

02

新たな活力を生み出す
働き方
—新卒採用の視点から

岡崎 仁美

03